



# 令和8年度 みやぎゼロカーボン アワード 候補者募集!!

募集  
期間

2026 7/1 (水) ▶ 9/25 (金)  
当日消印有効

県では、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロとすることを目標に掲げています。その実現に向けて、顕著な功績のあった個人又は団体を「みやぎゼロカーボンアワード」として表彰します。

つきましては、以下のとおり表彰の候補者を募集しますので、報道機関の皆さまにおかれましては、広く情報発信に御協力願います。

## 1 表彰対象

宮城県内における地球温暖化対策に資する活動で顕著な功績があった個人又は団体

## 2 表彰対象者

(1)宮城県内で地球温暖化対策に資する活動を行うもののうち、次の①から④に該当する個人又は団体

- ① 宮城県内に住所を有する個人
- ② 宮城県内に事業所又は事務所を有する団体（法人格の有無は問いません。）
- ③ 宮城県内の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校及び専修学校
- ④ その他知事が必要と認めるもの

(2)宮城県内において上記①から④と共同で地球温暖化対策に資する活動を行う個人又は団体のうち代表者が上記①から④であるもの

## 3 応募方法

応募用紙を、持参、郵送又は電子メールにより事務局（県環境政策課省工ネ・再工ネ推進班）へ提出する。

## 4 受賞の特典

- (1) 環境イベント「みやぎゼロカーボン大作戦」内で表彰式を開催し、賞状と盾を授与します。
- (2) 上記イベントや、県のHP、SNS、広報誌、パネル展示等で、取組を広く紹介するほか、受賞者には継続してPRの場を提供します。
- (3) 環境省が実施する「気候変動アクション環境大臣表彰」へ県が推薦を行います。

▼昨年度の表彰式の様子



詳細は、チラシ又は県HP▶  
を御覧ください。





# 令和8年度 みやぎゼロカーボン アワード

## 候補者募集

宮城県では、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロとすることを目指しています。

その実現に向けて、顕著な功績のあった個人または団体を「みやぎゼロカーボンアワード」として表彰します。

そして、優れた取組の内容を周知し、本県における地球温暖化対策を推進します。



募集  
期間

2026 7/1 (水) ▶ 9/25 (金)  
当日消印有効






### 対象分野

「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050戦略」の取組項目

- ①家庭や事業所での省エネ活動
- ②再エネ設備や省エネ設備等の先進的な導入
- ③二酸化炭素の排出を低減する製品・技術の開発
- ④森林・海洋環境の保全
- ⑤3R+Renewableの推進
- ⑥気候変動の影響による被害を回避・低減する適応策の導入・実践
- ⑦地球温暖化対策に関する普及啓発や環境教育

皆さまからのご応募を  
お待ちしております

みやぎゼロカーボンチャレンジ2050 公式Web・SNS・アプリ


[公式ポータルサイト](#)

[公式X \(旧Twitter\)](#)

[公式Instagram](#)

[環境配慮行動促進アプリ ecoチャレンジみやぎ](#)


令和  
8年度

# みやぎゼロカーボンアワード 募集案内

表彰  
対象者

- 宮城県内で地球温暖化対策に資する活動を行うもののうち、次の①から④に該当する個人又は団体
  - ①宮城県内に住所を有する個人
  - ②宮城県内に事業所又は事務所を有する団体（法人格の有無は問わない。）
  - ③宮城県内の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学、高等専門学校及び専修学校
  - ④その他知事が特に必要と認めるもの
- 宮城県内において上記①から④と共同で地球温暖化対策に資する活動を行う個人又は団体のうち代表者が上記①から④であるもの

応募  
方法

- 応募用紙に必要事項を記入し、持参、郵送又はEメールにより下記の応募先へ1部提出してください。  
(応募用紙は、県環境政策課のホームページからダウンロードできます。)  
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/zerocarbonaward.html> ▶  
※持参の場合：平日の午前9時から午後5時まで受付。 ※郵送の場合：当日消印有効
- 自薦・他薦を問いませんが、他薦の場合は被他薦者の承諾を得た上で推薦してください。



応募・  
問合せ先

宮城県 環境生活部 環境政策課 省エネ・再エネ推進班  
〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

電話 ▶ 022-211-2664 Eメールアドレス ▶ [kankyoss@pref.miyagi.lg.jp](mailto:kankyoss@pref.miyagi.lg.jp)

Q

受賞者はどのように  
決定されますか？

A

有識者等による選考会を開催し、「最優秀賞」及び「優秀賞」の受賞者を決定します。

Q & A

Q

受賞するとどのような  
メリットがありますか？

A

- ・環境イベント「みやぎゼロカーボン大作戦」内で表彰式を開催し、賞状と楯を授与します。
- ・上記イベントや、県のHP、SNS、広報誌、パネル展示等で、取組を広く紹介するほか、受賞者には継続してPRの場を提供します。
- ・環境省が実施する「気候変動アクション環境大臣表彰」へ県が推薦を行います。

## 過去の受賞者 (敬称略)

令和  
7年度  
受賞

日東電工株式会社  
東北事業所

CO<sub>2</sub>ゼロエミッション工場の取組

自家再生可能エネルギーを最大限に活用したCO<sub>2</sub>排出量ゼロの新工場を整備。太陽光発電によるグリーン水素製造や、液化水素から水素ガスを製造し、水素燃料100%のボイラーで蒸気を生成する国内初のシステムを構築。見学受け入れやセミナー等による普及啓発にも積極的に取り組む。



令和  
6年度  
受賞

株式会社東北バイオフード  
リサイクル

食品リサイクルによるカーボン  
ニュートラル実現に向けた取組

飲食店等において、食品廃棄物のメタン発酵による発電を利用する「電力リサイクルグループ」や、副産物による肥料を使用した農作物を利用する「農業リサイクルグループ」を構築し、大幅な二酸化炭素削減を実現。環境学習の支援にも積極的に取り組む。



令和  
5年度  
受賞

株式会社一の坊

限りある地球資源を大切に  
する温泉宿のSDGsへの取組

温泉廃熱利用、建物・設備の省エネ化、フードロス削減など、二酸化炭素削減に寄与する多方面の取組を展開。全社一丸となってPDCAサイクルにより二酸化炭素削減に取り組むシステムを構築。



## 令和8年度みやぎゼロカーボンアワード 応募用紙

## 1 表彰候補者の情報

ふりがな			
氏名又は 会社・団体名			
ふりがな		代表者役職※	
代表者氏名※			
住所又は 所在地	〒      —		
電話番号	(      )      —		
Eメール アドレス			

※表彰候補者が会社・団体の場合のみ記載してください。

## 2 表彰候補者の担当者情報（表彰候補者が会社・団体の場合のみ記載）

本賞に関する事務連絡の窓口となる担当者について記載してください。

ふりがな		部署・役職	
担当者氏名			
住所又は 所在地※	〒      —		
電話番号※	(      )      —		
Eメール アドレス※			

※1と同一の場合は記載不要です。

## 3 【他薦の場合のみ】推薦者の情報

ふりがな			
氏名又は 会社・団体名			
住所又は 所在地	〒      —		
担当者氏名※		部署・役職※	
電話番号	(      )      —		
Eメール アドレス			
推薦理由			

※推薦者が会社・団体の場合のみ記載してください。

## 4 取組・活動の基本情報

名称（タイトル）	取組・活動の内容を簡潔に表す名称（タイトル）を記載してください。
他の受賞歴	表彰の名称（当該取組・活動について、他の団体等から表彰を受けたことがある場合は記載してください）



みやぎゼロカーボンアワード 受賞者一覧

※敬称略、R4年度までは「宮城県ストップ温暖化賞」として実施

年度	受賞者	取組・活動等	備考
R7	最優秀賞 日東電工株式会社 東北事業所	・Nittoグループ初のCO <sub>2</sub> ゼロエミッション工場を東北事業所に竣工し、熱エネルギーの水素利用により燃料・電力の両面で脱炭素化を実現。 ・工場内で液化水素から水素ガスを製造し、水素燃料100%のボイラーで蒸気を生成する国内初のシステムを構築。 ・太陽光発電の余剰電力を活用したグリーン水素の製造・蓄エネによりCO <sub>2</sub> 排出量削減に貢献。	
	優秀賞 株式会社高速 ※共同応募者（プロジェクトパートナー） ベガルト仙台／仙台市／株式会社Pyro／ 東洋スチレン株式会社／東商化学株式会社 ／一般社団法人未来のテレビを考える会/ 株式会社NTTデータ経営研究所	・ベガルト仙台などと連携し、スタジアムで使用されるプラスチック容器を分別・回収してケミカルリサイクルにより再資源化するプロジェクトを実施。 ・容器を分子レベルまで分解・再構成して食品容器やベガルトグッズとして再利用するなど、地域循環型社会の実現を目指す。	
	株式会社馬淵工業所	未利用廃熱のエネルギーを活用した『オフグリッド型ORC発電システム』を開発。	
R6	最優秀賞 株式会社東北バイオフードリサイクル	・飲食店等から排出される食品廃棄物をリサイクルし、バイオガス発電及び発酵残渣の全量肥料化の取組により、CO <sub>2</sub> 排出量を削減。 ・発電した電力を飲食店等に還元、さらに肥料で作られた農作物を飲食店等で利用する「タフルリサイクルループ」を構築。 ・そのほか、学校等で環境学習の支援にも積極的に取り組んでいる。	
	優秀賞 兼松サステック株式会社 ジオテック事業部 仙台営業所	・住宅建築時の地盤補強材として木杭を利用する「環境パイル工法」を開発。 ・セメントや鉄を使用する地盤補強工法から置き換え、間伐材を含む国産木材を使用することで、住宅建築時のCO <sub>2</sub> 排出量を削減。	令和7年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞
	パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社	・環境イベントへの出展や学校での出前授業などに取り組み、環境教育の取組を展開。 ・オリジナルのカリキュラムや教材を活用し幅広い年代層が楽しく環境問題を学べる機会を提供。	
R5	最優秀賞 株式会社一の坊	・温泉廃熱利用、建物・設備の省エネ化、フードロス削減など、CO <sub>2</sub> 削減に寄与する多方面の取組を展開。 ・全社一丸となってPDCAによりCO <sub>2</sub> 削減に取り組むシステムを構築。	令和6年度気候変動アクション大賞受賞
	優秀賞 特定非営利活動法人SCR	・市民参加型で養蜂。 ・環境指標生物であるミツバチをテーマとした出前講座・ワークショップを継続的に開催し、子ども達に環境保全の重要性を伝えている。	
	株式会社サカモト	・事業活動において、植林や県産材利用に積極的に取り組んでいる。 ・地域の団体と連携し、エネルギーの地産地消の実践と普及啓発を実施。	令和6年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞
	株式会社薬館クリーンセンター	・焼却施設の廃熱を利用した農業用ハウスでコーヒー豆等を栽培してカーボンフットプリントを大幅に削減。 ・本農業施設を就労支援施設の利用に供し、環境×農業×福祉の統合的向上に貢献。	
	東北ボーリング株式会社	・オープンループによる地中熱の導入、県産材(CLT等)の活用により、木造建築としては県内初のZEB化。 ・県内外の見学者を積極的に受け入れ、ZEBの普及啓発に尽力。	
R4	大賞 株式会社深松組	「複数熱（地中熱等）回収システム」導入による省エネ対策	令和5年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞
	賞 株式会社オイルプラントナトリ	廃食油を活用した脱炭素に向けた取組	
	宮城県地球温暖化防止活動推進員 コミュニケーターチーム	環境出前講話による地球温暖化防止の普及啓発活動	
	ヤマト運輸株式会社 新宮城主管支店	ヤマト運輸株式会社 新宮城主管支店 SDGs推進委員会	
R3	大賞 株式会社学研スタディ工東北事業本部～あすなる学院～	地元みやぎで学ぶ子ども達応援企画 ～ミライ思考～ 第1弾 気仙沼の海と山と人 小学生SDGs作文コンクール	
	賞 株式会社宮城衛生環境公社	宮城県初の再エネ100宣言RE Action達成を目指して	令和4年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞
	南三陸少年少女自然調査隊	かけがえのない地域の自然環境を守り伝える活動	令和4年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞
R2	大賞 一般社団法人 持続可能で安心安全な社会をめざす新エネルギー活用推進協議会	地域を越えた中小企業連合による『新エネルギー』の活用に向けた技術開発等の取組	
	賞 菊地 ひろ子	次世代へ今 私たちにできること 「家庭で身近に取り組める温暖化防止活動」	
	気仙沼地域エネルギー開発株式会社	漁業のまち気仙沼で木質バイオマス熱電供給事業に取り組む	令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞
	有限会社千田清掃 代表取締役 千田 信良 千葉 智恵	バイオディーゼル燃料で温暖化防止！ 環境出前講座等の地球温暖化防止普及活動	
R1	大賞 一般社団法人日本キリバス協会 代表理事 ケンタロ・オノ	地球温暖化最新線国キリバス共和国をテーマとした地球温暖化防止啓発活動	令和2年度気候変動アクション環境大臣表彰受賞
	賞 農業生産法人株式会社ベジ・ドリーム栗原	余剰熱の再利用など環境配慮型の日本最大規模パブリカ農場運営による CO <sub>2</sub> 削減	
	白石蔵王エコフォーラム	環境出前講座教育等の地球温暖化防止普及活動	
	栗原市薬館生活学校	地球にやさしい暮らしのすすめ（ごみ減量とリサイクル）	
	特定非営利活動法人環境エネルギー技術研究所	低炭素社会に向けた環境エネルギー技術に関する普及啓発活動	